

NEWS RELEASE

キヤノン IT ソリューションズ株式会社

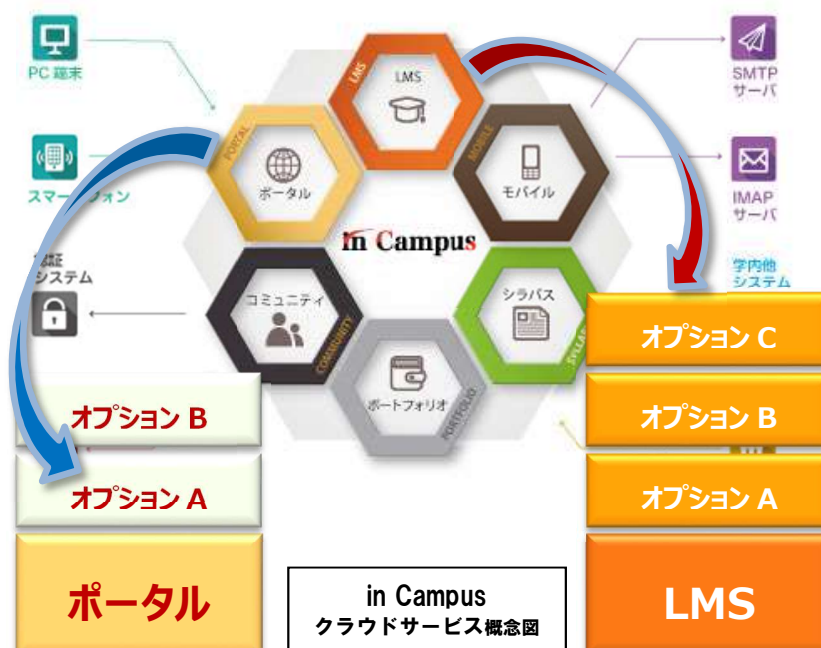
大学の環境や用途に合わせて学びの「ありたいカタチ」を実現する  
**教育機関向けソリューション「in Campus シリーズ」**  
 ～SaaS サブスクリプション型サービスを提供開始～

キヤノンマーケティングジャパングループのキヤノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：金澤 明、以下キヤノン ITS）は、教育機関向けソリューション「in Campus シリーズ」の「ポータル」と「LMS（学習管理システム）」の2種において、契約ユーザー数に応じた料金で提供可能な SaaS サブスクリプション型の新サービス「in Campus ポータル Cloud」と「in Campus LMS Cloud」の提供を 2021 年 5 月下旬より開始します。

昨今、大学をはじめとした教育機関は、新型コロナウイルスによるニューノーマルへの移行で、オンライン授業に対応できるセキュアで高品質な教育環境づくりや教職員の働き方改革などを進めています。その中でも、ICT を利活用した学内情報発信の窓口となる「ポータルシステム」と授業で利用される「LMS（学習管理システム）」は急速に需要の高まりを見せています。一方、サービス内容や技術の進展に伴い、大学および学生は多様なサービスの中から最適なサービスを選定することや各システムのログイン情報を管理するなど、導入・運用面で負荷がかかっています。

このような課題を解決するべく、キヤノン ITS は、このたび教育機関向けソリューション「in Campus シリーズ」に、初期費用を抑えて短期間での利用開始が可能な SaaS サブスクリプション型の新サービス「in Campus ポータル Cloud」と「in Campus LMS Cloud」の2種をラインアップに拡充します。

本サービスは、キヤノン ITS がこれまで多くの大学でご利用いただいているオンプレミス型「in Campus シリーズ」の「ポータル」と「LMS」の機能や使い勝手をそのままクラウドへ移行し、違和感なくスムーズな操作を可能にしました。また、新たに基本メニューとオプションを切り分けて開発しているので、大学の環境や用途に合わせた機能をパズルのように選び、初期費用を抑えながら大学および学生の「やりたい」「伝えたい」「学びたい」をかなえることができます。



キヤノン ITS は、長期ビジョンである VISION2025 において“サービス提供モデル”の拡大を目指しております。文教ソリューション分野では従来から展開する「in Campus シリーズ」に加えて、今回リリースするクラウドサービスを新たな選択肢として市場に展開します。

今後、ターゲット領域の拡大や有力システムパートナーとのアライアンス強化を通じて、さらなる拡販を進めていきます。

## ■価格表

サービス名	価格（税別）	発売時期
in Campus ポータル Cloud	初期費用+180 万円/年～	2021 年 5 月下旬
in Campus LMS Cloud	初期費用+180 万円/年～	
各種オプション	21 万円/年～	2021 年 5 月下旬より随時

ご契約は最低期間 1 年となり、月払い・年払いのいずれかを選択いただけます。

「in Campus ポータル Cloud」および「in Campus LMS Cloud」の初期設定費用は、追加オプションや連携させるシステムなどにより変動します。

- 
- 報道関係者のお問い合わせ先：企画本部 コミュニケーション推進部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603（直通）
  - 一般の方のお問い合わせ先：文教ソリューション営業本部 03-5730-7075（直通）
  - キヤノン ITS「文教ホームページ」：[canon-its.co.jp/solution/education/](http://canon-its.co.jp/solution/education/)
  - ニュースリリースホームページ：[canon.jp/newsrelease](http://canon.jp/newsrelease)
-

## ■「in Campus ポータル Cloud」の主な特長

### 1) 学内の各種情報が一目でわかる

お知らせ、カレンダー、アンケート、各種リンクなどがポータルサイトに表示され、学生は学内の情報を一つの画面で確認することができます。

### 2) 学内システムのお知らせを集約

学内で使われている LMS や教務システムなど各種システムから発信されるさまざまな「お知らせ」をポータルサイトに一括して表示させることができ、かつ個人宛を優先表示、3 日以内には「NEW」や未読のアイコン表示などにより情報の受信漏れを防ぐことができます。

### 3) 全学イベント・アンケート集計が可能

お知らせと同様に対象者を設定して、オンラインで記名・匿名それぞれのアンケートを実施することができ、結果を円グラフ、棒グラフ、表で表示することができます。さらにイベントの参加申し込み等にもご利用いただけます。

## ■「in Campus LMS Cloud」の主な特長

### 1) 対面でも双方向性を実現

教員と学生が非対面の状況下でもオンラインでの「教材配布」や「レポート提出」などが可能となり、授業運営全般を強力にサポートします。また授業に関するアンケート収集や掲示板などの活用で円滑なコミュニケーションが実現できます。

### 2) LTI 準拠で教材の選択肢を拡大

「in Campus LMS Cloud」は LTI (※1) にオプションで準拠しているため、対応する外部サイトとの連携が可能となり、LMS の教材や課題として利用することができます。

### 3) 授業コースの管理も楽々！

学生がアクセスした場合は時間割として、教員がアクセスした場合は出講表として表示され、それぞれの立場での共通利用が可能となります。教務システムとの連携により、表示された授業を選択するとその授業のトップ画面に遷移するなど履修内容の管理に役立ちます。

## ■「in Campus ポータル・LMS Cloud」共通の特長

### 1) 「in Campus シリーズ」に初めてのクラウドサービスモデルが登場！

ポータル・LMS ともクラウドサービスのため、従来に比べ格段に短期間で導入が可能となり(※2)、ハードのライフサイクルに応じた移行の必要もなく、費用面でも従来型の初期導入、カスタマイズ、更新時の費用負担も抑えた運用を可能にしました。

### 2) クラウド導入に対応したセキュリティと高可用性により安定稼働を実現

WAF 経由の Web アクセスによる不正アクセスや DDoS 攻撃の対策を講じています。ロードバランサでの適切な負荷分散を図るなどコンテンツを提供するサービスは的確に管理されており、ローリングアップデートの活用などの効果を生かした高可用性を実現しました。

### 3) 自由に組み合わせ可能なオプションを用意

学生への情報伝達力強化につながる LINE 連携サービスなど豊富なオプションを用意しました。導入時に設定したオプションだけでなく、必要になった機能を必要なタイミングで追加することができます。さらに LRS や LA (※3) など教育ビッグデータ活用の時代に向けたオプションと剽窃チェック機能などを随時、追加提供予定 (※4) です。

- ※1 LTI  
Learning Tools Interoperability®の略。学習用のプラットフォームを外部ツールと連携させるための技術標準。
- ※2 短期間での導入が可能  
導入環境や連携システム、オプション追加の内容により導入期間は変動します。
- ※3 LRS  
Learning Record Store の略。xAPI 仕様に準拠し、学習システムの有効なアクティビティデータを格納するデータベース。また、管理者が分析のために「生の」xAPI データを利用するためのデータベース。  
LA  
Learning Analytics の略。オンラインの学習システムに記録される学習履歴を、データマイニングの手法で可視化・分析し、学習者の評価や予測、授業デザインなどに利用する。
- ※4 追加提供予定  
予告なく変更・中止になる場合がありますので、予めご了承ください。

## 「in Campus ポータル Cloud」基本機能一覧

	機能名	概要
1	お知らせ	カテゴリ毎に分類されたお知らせを表示
2	アンケート	記名・匿名形式のアンケート機能
3	リンク	学内各システムへのリンクを表示
4	カレンダー	カレンダーへのスケジュール表示
5	個人設定	表示言語の変更やお知らせの通知先設定

## 「in Campus ポータル Cloud」オプション機能一覧

	機能名	概要
1	LINE 通知	システム上のお知らせを LINE で通知
2	ユーザー認証連携	休講・補講のカレンダー連携学内ユーザー情報を連携
3	教務システム連携	教務システムから学生、教員、授業、履修データを連携
4	SSO 連携	学内 Idp サーバーとの認証を連携
5	RSS 連携	サイトの最新記事をリアルタイムに表示

## 「in Campus LMS Cloud」基本機能一覧

	機能名	概要
1	教材配布	授業で使用するファイル、リンク、動画の教材を配布
2	お知らせ	公開範囲を指定して、お知らせを配信
3	掲示板	授業毎に複数の掲示板を登録
4	小テスト	複数形式の小テストをオンラインで実施
5	レポート(課題)／採点	教員が登録した課題を学生がオンラインで提出
6	時間割	曜日と時限の表形式で時間割を表示
7	動画連携(YouTube URL)	授業内に動画の URL を登録
8	出席管理	出席情報の取得、登録
9	アンケート	オンラインで記名・匿名のアンケートを取得
10	コースデータコピー (コンテンツ再利用)	登録済みのコンテンツを他の授業にコピー
11	個人設定	表示言語の変更やお知らせの通知先設定

## 「in Campus LMS Cloud」オプション機能一覧

	機能名	概要
1	LINE 通知	システム上のお知らせを LINE で通知
2	ユーザー認証連携	学内ユーザー情報を連携
3	教務システム連携	教務システムから学生、教員、授業、履修データを連携
4	SSO 連携	学内 Idp サーバーとの認証を連携
5	外部ツール(LTI 連携)	LTI 対応ツールとの連携により LMS から外部サイトを利用
6	コースバックアップ・リストア	コースのコンテンツを自動的にバックアップ取得

### ■「in Campus シリーズ」とは？

「in Campus シリーズ」は、キヤノン ITS の独自開発による教育支援情報のプラットフォームです。2013 年 4 月に明治大学の教育支援情報システム「Oh-o! Meiji システム」の提供を開始し、2014 年 7 月にはこれをベースに他の大学でも幅広く導入可能な教育支援情報プラットフォームを開発しました。学内情報発信の窓口となる「ポータル」と、授業シーンで利用される「LMS（学習管理システム）」、学生個人の学修成果の蓄積を行える「ポートフォリオ」を中心に、大学教育で必要とされる主要な機能を装備しています。

